

平成 26 年度 【 学園研究費助成金 < B > 】 研究成果報告書

学部名 文化情報学部

フリガナ ミタ タカアキ
氏名 見田 隆鑑

研究期間 平成 26 年度

研究課題名 映像コンテンツを通じた文化情報の発信とその活用による地域活性化への取り組み

研究組織

	氏名	学部	職位
研究代表者	見田隆鑑	文化情報学部	講師
研究分担者	柝窪優二	文化情報学部	教授
研究分担者			

1. 本研究開始の背景や目的等 (200 字～300 字程度で記述)

本研究は、これまで 2 年間行って来た愛知県稲沢市における文化財（仏像）のハイビジョン映像での記録と配信を継続し、より高度なデジタルアーカイブを構築するとともに、地域連携を通じた映像コンテンツの具体的な活用を図ることを目的とするものである。また、ケーブルテレビなど地域のメディアとタイアップを図ることで地域においてどのような評価が得られるのか、放映を通してどのようなアクションが起こるのかを見つめながら、文化財に関わる映像コンテンツの望ましい記録・活用の方法の分析を行う。加えて、大学での教育活動を通じた地域社会への貢献を図っていく中で、本研究ではナレーションやインタビューをはじめ、学生も主体的に文化情報の発信に関わり、その経験を通して学びを深めていくことを目的としている。

2. 研究方法等 (300 字程度で記述)

映像制作にあたっては、稲沢市教育委員会を通して寺院から撮影の許可をもらった段階で、見田が撮影用の仮原稿を作成し、実際の撮影及び映像の編集を担当する研究分担者の柝窪と原稿の検討・校正を行った上で撮影に臨む。撮影には教員とともに学生が参加し、撮影の補助及びインタビューを担当する。撮影した映像は大学で編集し、学生によるナレーションを収録する。制作した映像は市教育委員会、所蔵者に確認してもらい必要な修正を経て完成し、大学の YouTube チャンネルに掲載後、専用のホームページに掲載するという一連の流れで行っていく。制作した映像は、公開を通して視聴者からの意見を集める。映像作品のインターネット公開以外の活用方法に関しては、市教育委員会や地域のケーブルテレビ局と連携を図り、検討を行っていく。年度内の活動を通して得た評価・意見などの分析を通し、活動を総括する。

3. 研究成果の概要 (600字～800字程度で記述)

今年度は稲沢市の映像作品、法華寺・木造薬師如来坐像及び亀翁寺・木造虚空蔵菩薩坐像の制作とホームページ (<http://bjvm.ci.sugiyama-u.ac.jp>) 及び大学の YouTube チャンネル (<https://www.youtube.com/user/SugiyamaUniv>) での動画公開を行った。また長暦寺の木造阿弥陀如来坐像・木造大日如来坐像と禅源寺・木造阿弥陀如来坐像の撮影を行い、編集作業を完了した。これまで制作・公開した映像作品(10本)は、地域のケーブルテレビ局(CATV)と連携して、2014年6月より一宮市のCATV・ICCで放送されたほか、稲沢市のCATVでも放送された。大学制作の映像作品が地域のCATVで準レギュラー放送された実績などを通して、こうした文化情報の発信は社会的なニーズや意義があることを実証できた。映像を軸にした大学と行政との地域連携プロジェクトは定着できる段階まで進んだ。このような国内でもあまり例のない実績を支えに、稲沢市に隣接する一宮市でも稲沢と同様に大学と地域が連携して文化財(特に仏像)の映像を制作していけないか、一宮市博物館、ICC、大学との産学官連携で検討している。本年度の稲沢市仏像シリーズの映像制作では学生がインタビュー、ナレーションだけではなく、撮影補助としても積極的に参加するようになり、前年度よりも学生が関わる部分が増えた。2015年3月には稲沢市で開催の「ふるさとガイドの会・記念講演会」にて研究代表者の見田が、稲沢市の仏像の紹介とともに、大学と稲沢市が連携して制作してきた稲沢市仏像シリーズの活動及び本研究の成果について紹介し、地域の文化財の保存と活用について啓発を行う予定である。このほか今年度は宮城県登米市・大徳寺の木造不動明王坐像 (<http://bjvm.ci.sugiyama-u.ac.jp/worklist/Sculptures/000031.html>) の映像も番外編として制作した。本年度の研究で、地域連携で文化財の魅力映像発信する枠組みを確立し、地域の活性化に向けたコンテンツの活用策を探る段階まで進めた意義は大きい。

4. キーワード (本研究のキーワードを1以上8以内で記載)

①仏像	②仏教美術	③文化財	④映像コンテンツ
⑤映像制作	⑥デジタルアーカイブ	⑦地域連携	⑧官学連携

5. 研究成果及び今後の展望 (公開した研究成果、今後の研究成果公開予定・方法等について記載すること。既に公開したものについては次の通り記載すること。著書は、著者名、書名、頁数、発行年月日、出版社名を記載。論文は、著書名、題名、掲載誌名、発行年、巻・号・頁を記載。学会発表は発表者名、発表標題、学会名、発表年月日を記載。著者名、発表者名が多い場合には主な者を記載し、他〇名等で省略可。発表数が多い場合には代表的なもののみ数件を記載。)

現在公開している研究成果は以下の通りである。

- ・稲沢市法花寺町 法華寺の木造薬師如来坐像 (稲沢市仏像シリーズ 11)
<https://www.youtube.com/watch?v=pMYvR0U6v8c>
- ・稲沢市北市場町 亀翁寺の木造虚空蔵菩薩坐像 (稲沢市仏像シリーズ 12)
<https://www.youtube.com/watch?v=6YXRhi-dzls>
- ・宮城県登米市 大徳寺(横山不動尊)の木造不動明王坐像 (仏像シリーズ)
https://www.youtube.com/watch?v=U_5cM5WzJmc

各映像作品は、地域文化・仏像バーチャルミュージアム (<http://bjvm.ci.sugiyama-u.ac.jp>) にも掲載している。デジタルアーカイブを行っていく上で重要な点は活動の維持と継続にある。今後も映像制作を地域と連携して継続しつつ、その活動の範囲を少しずつ広げていきたい。